

議案第 6 4 号

総社市国民健康保険税条例の一部改正について

総社市国民健康保険税条例（平成 1 7 年総社市条例第 5 7 号）の一部を次のとおり改正する。

令和 5 年 1 1 月 3 0 日提出

総社市長 片 岡 聡 一

提案理由

地方税法の改正により，出産する国民健康保険被保険者に対する国民健康保険税の軽減措置が講じられることから，関係条文の整備を行おうとするものである。

総社市条例第 号

総社市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

総社市国民健康保険税条例（平成17年総社市条例第57号）の一部を次のように改正する。
次の表の改正後の欄中条及び項の表示に下線が引かれた条及び項を加える。

改正後	改正前
<p>(国民健康保険税の減額)</p> <p>第21条 略</p> <p>2 略</p> <p>3 <u>国民健康保険税の納税義務者の世帯に地方税法施行令第56条の89</u> <u>第4項に規定する出産被保険者（以下「出産被保険者」という。）が属する</u> <u>場合における当該納税義務者に対して課する所得割額及び被保険者均</u> <u>等割額（第1項に規定する金額を減額するものとした場合にあっては、そ</u> <u>の減額後の被保険者均等割額）は、当該所得割額及び被保険者均等割額か</u> <u>ら、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額を減額し</u> <u>て得た額とする。</u></p> <p>(1) <u>国民健康保険の出産被保険者に係る基礎課税額の所得割額 当該出</u> <u>産被保険者につき第3条の規定により算定した所得割額の12分の1</u> <u>の額に、当該出産被保険者の出産の予定日（地方税法施行規則第24条</u> <u>の30の5に定める場合には、出産の日。以下同じ。）の属する月（以</u> <u>下「出産予定月」という。）の前月（多胎妊娠の場合には、3月前）か</u> <u>ら出産予定月の翌々月までの期間（以下「産前産後期間」という。）の</u> <u>うち当該年度に属する月数を乗じて得た額</u></p> <p>(2) <u>国民健康保険の出産被保険者に係る基礎課税額の被保険者均等割額</u> <u>当該出産被保険者につき第4条の規定により算定した被保険者均等割</u></p>	<p>(国民健康保険税の減額)</p> <p>第21条 略</p> <p>2 略</p>

改正後	改正前
<p>額（第1項に規定する金額を減額するものとした場合にあつては、その減額後の被保険者均等割額）の12分の1の額に、当該出産被保険者の産前産後期間のうち当該年度に属する月数を乗じて得た額</p> <p>(3) 国民健康保険の出産被保険者に係る後期高齢者支援金等課税額の所得割額 当該出産被保険者につき第6条の規定により算定した所得割額の12分の1の額に、当該出産被保険者の産前産後期間のうち当該年度に属する月数を乗じて得た額</p> <p>(4) 国民健康保険の出産被保険者に係る後期高齢者支援金等課税額の被保険者均等割額 当該出産被保険者につき第7条の規定により算定した被保険者均等割額（第1項に規定する金額を減額するものとした場合にあつては、その減額後の被保険者均等割額）の12分の1の額に、当該出産被保険者の産前産後期間のうち当該年度に属する月数を乗じて得た額</p> <p>(5) 国民健康保険の出産被保険者に係る介護納付金課税額の所得割額 当該出産被保険者につき第8条の規定により算定した所得割額の12分の1の額に、当該出産被保険者の産前産後期間のうち当該年度に属する月数を乗じて得た額</p> <p>(6) 国民健康保険の出産被保険者に係る介護納付金課税額の被保険者均等割額 当該出産被保険者につき第9条の規定により算定した被保険者均等割額（第1項に規定する金額を減額するものとした場合にあつては、その減額後の被保険者均等割額）の12分の1の額に、当該出産被保険者の産前産後期間のうち当該年度に属する月数を乗じて得た額</p> <p>(特例対象被保険者等に係る申告) 第22条の2 略 (出産被保険者に係る届出)</p> <p>第22条の3 国民健康保険税の納税義務者は、出産被保険者が世帯に属する場合には、次に掲げる事項を記載した届書を市長に提出しなければならない。</p> <p>(1) 納税義務者の氏名、住所、生年月日及び個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年法律第27号）第2条第5項に規定する個人番号をいう。以下同じ。）</p> <p>(2) 出産被保険者の氏名、住所、生年月日及び個人番号</p>	<p>(特例対象被保険者等に係る申告) 第22条の2 略</p>

改正後	改正前
<p>(3) <u>出産の予定日</u></p> <p>(4) <u>単胎妊娠又は多胎妊娠の別</u></p> <p>(5) <u>その他市長が必要と認める事項</u></p> <p>2 <u>前項の届書の提出に当たり、当該納税義務者は、次に掲げる書類を添えなければならない。</u></p> <p>(1) <u>出産の予定日を明らかにすることができる書類</u></p> <p>(2) <u>多胎妊娠の場合には、その旨を明らかにすることができる書類</u></p> <p>(3) <u>出産後に前項に規定する届出を行う場合には、出産した被保険者と当該出産に係る子との身分関係を明らかにすることができる書類</u></p> <p>3 <u>第1項の規定による届出は、出産被保険者の出産の予定日の6月前から行うことができる。</u></p> <p>4 <u>第1項の規定にかかわらず、市長が、当該出産被保険者について同項各号に掲げる事項及び第2項各号に掲げる書類において明らかにすべき事項を確認することができる場合は、第1項の規定による届出を省略させることができる。</u></p>	

附 則

(施行期日)

1 この条例は、令和6年1月1日から施行する。

(適用区分)

2 この条例による改正後の総社市国民健康保険税条例の規定は、令和5年度分の国民健康保険税のうち令和6年1月以後の期間に係るもの及び令和6年度以後の年度分の国民健康保険税について適用し、令和5年度分の国民健康保険税のうち令和5年12月以前の期間に係るもの及び令和4年度分までの国民健康保険税については、なお従前の例による。